

## 久松 公生 議員



**Q** 千代田中学校区の義務教育学校について伺う

**A** 実践的な英語力が身につくように英語教育に注力いたします

**Q** 市内初の義務教育学校開校に向け、9年間の一貫教育を通して実践的な英語力が身につくよう、CEP（Cチヨダ Eイング リッシュプログラム）に従い、英語教育の充実した特色のある学校を目指すとのことですが、具体的な目標はあるのか伺います。

**A** 教育長 千代田義務教育学校の特色ある学校の教育内容につきましては、小中一貫教育推進に向けて、教職員が過去5年間にわたり研修を行った結果、実践的な英語力を身につけさせる取り組みを行うことになりました。具体的な目標としては9年間の義務教育が終了するまでに、生徒の半数以上が英検3級以上を合格することを大きな目標にしております。

**Q** 歴史博物館研修施設前の交差点は信号機設置の地域住民要望が出されており、さらには、現在市が注力している歩崎地域観光拠点の入口になるかと思えます。当市に来訪していただく方を安全安心で迎え入れるためにも交差点の信号機設置が必要と考えますが、どのように捉えているのか伺います。

**A** 市長 本交差点につきましては、地域住民の交通安全に加えまして、交流センター、歩崎棧橋、古民家江口屋など観光拠点への入口という観点から、本市を訪れる方のためにも信号機設置は必要であると考えております。県警本部との考え方の相違はございますが信号機設置について、継続して要望してまいりますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

**3 2 1** 質問通告事項  
下稻吉中学校屋内運動場整備等について  
千代田中学校区の義務教育学校について  
本市の観光事業の現状について



## 宮嶋 謙 議員



**Q** 複合交流拠点施設は監査委員の勧告に従い一旦止めて市民の意向を確認すべきではないか伺う

**A** 予算審議の中では議員の同意が得られていきますので進めます

**Q** 市が進めている複合交流拠点施設整備計画が明らかになってから、計画の見直しを求める市民の声が高まっており、住民監査請求が起されました。これに対する監査報告書では「市民は、このコロナ禍において約20億円を要する複合交流拠点の整備が必要かどうかということについても疑問を抱いている。整備予定地の2万9000㎡が真に必要な面積なのか、その用地内においていかに市民に喜ばれる施設をどの程度の規模でどのような内容で整備していくかなど、十分な時間をかけて市民の意見を聞いた上で前へ進んでいくべきものと考ええる。なお、この勧告に沿わずに事業が強行されれば、再度、住民監査請求等に発展する可能性が非常に高いことを申し添えさせていただく」とあります。事業そのものの必要性が監査委員から問われていて、市民の意向を確認してくださいということなので、この計画は一旦止めて意見聴取からやり直すということなのか伺います。

**A** 市長公室長 監査結果の中で、本件土地を購入する契約を締結してはならないと求めている部分については棄却するというふうなこともございます。令和3年第1回定例会での予算審議の中では議員の同意を得られておりますので、そういった形では進めていきたいというふうに考えてございます。

**1** 質問通告事項  
複合交流拠点施設整備計画に対して、多くの市民から反対意見が出されていることについて  
**2** 土浦市と連携した「食の地域づくり」について



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

質問通告事項

**21** 公金リスク管理の不備について  
低炭素化社会をめざす当市教育と取り組みについて

古橋 智樹 議員



**Q** 庁内デジタル化も予算・業務の増加に  
公金リスク管理の不備について伺う

**A** 他自治体の管理体制など参考もあり社  
会経済情勢に対応した運営に努める

**Q** 国指針の努力義務、検証体制を見送り、庁内システムのデジタル化と人員抑制としながら、予算と業務量増加の現状に庁内の事務処理は煩雑化が懸念され、基金等資金管理のペイオフとセキュリティに対するチェックの形骸化などの状況から市の公金リスク管理の不備について伺います。

**A** 市長 公金管理についていろいろとご心配をいただいているところですが、本市の状況は、預金等での管理、債券での管理、ペイオフ対策など対応してはいますが、他の自治体での管理体制など参考もあり、調査研究とともに社会経済情勢の変化に的確に対応した行財政運営に努めます。

**Q** 我が市は、自然とインフラの地理的ポテンシャルが大いにあるので現状に甘んずることなく、低炭素化の取組計画と具体的な施策を施行して人口課題や経済活動に循環する、環境配慮のある理想郷を目指したいと願うことから、低炭素化社会を目指す当市教育と取り組みについて伺います。

**A** 市長 本市としても地球温暖化対策に取り組んでいます。脱炭素社会を目指すため、二酸化炭素の排出削減とともに、森林などにより排出量を吸収するカーボンニュートラルやカーボンオフセットなどの考え方を今後取り入れる必要があり、全国的には実施している自治体もあると認識します。今後も温室効果ガスの排出を削減するため、さらなる取り組みについて、他の自治体の例も参考に研究したいと考えます。



小倉 博 議員



**Q** 本市小・中学校、児童・生徒の自己  
肯定感を養う教育について伺う

**A** 自信を持ち、様々なことに前向きに取り組  
むことが出来るよう指導してまいります

**Q** 道徳教育や人権教育などについて、幅広い小・中学校の全体的な計画もあると思いますが、本市における心の教育、特に自己肯定感を養う教育について、どのように実践されているのか伺います。

**A** 教育長 各小・中学校で定期的に人間関係や心理的な状況を把握する調査等を行い、児童・生徒一人一人の自己肯定感などを客観的に見取る取り組みを行っております。また、各教科や特別活動での一人一人の努力や成長を適切に教師が評価するだけでなく、児童・生徒同士の相互評価なども積極的に取り入れております。周囲から認められることで自分のよさに気づき、自信を持つて様々なことに前向きな姿勢で取り組むことができる児童・生徒の育成を今後も継続してまいります。

**Q** 児童・生徒の通学路の安全確保のため、どのような取り組みを行っているのか、県道53号線つくば千代田線を一例として、歩道整備など通学路の安全点検と今後の改善について伺います。

**A** 教育部長 かすみがうら市通学路交通安全プログラムに基づき、各関係機関と連携を図るため、通学路安全推進会議を設置し、毎年、学校やPTA、土浦土木事務所、土浦警察署、市の各担当部署、教育委員会などが集まり、現地を確認しながら中学校区単位で通学路の合同点検を実施しております。県道53号線につきま摘まれており、歩道（自転車通行帯）の設置を土浦土木事務所に打診しているところでございます。

質問通告事項

**21** 本市子ども達の生きる力の養成について  
通学路の安全について



## 佐藤 文雄 議員



**Q** 水戸地裁が運転差止め判決を下した、東海第2原発の再稼働について市長の見解を伺う

**A** 再稼働の是非につきましては、今後の動向を注視してまいりたいと考えております

**Q** 水戸地方裁判所は3月18日、東海第2原発再稼働について運転の差止めの判決を下しました。市長の見解を伺います。

**A** 市長 再稼働の是非につきましては、茨城県は、「司法の判断であり、当事者でないことからコメントは控えさせていただきます」としてありますが、「安全性の検証と実効性ある避難計画の策定に取り組んだ上で県民に情報提供し、県民や避難計画を策定する市町村、県議会の意見を聞きながら判断していきます」との見解を示しております。本市といたしましても、今後の動向を注視してまいりたいと考えております。

**Q** 今、「学校のトイレに生理用品を」との声が上がっています。教育長の見解を伺います。

**A** 教育長 コロナ禍において生理の貧困が問題視されていることは認識しており、現段階で本市の中学校におきましては、今年度7月から女子トイレへの生理用品の設置を既に行っています。また、小学校におきましても、中学年以上のトイレへの設置を指示しており、9月初めから対応をしているところでございます。

**321** 質問通告事項  
入札制度の改善について  
高齢者福祉と子育て支援について  
東海第2原発再稼働について



## 設楽 健夫 議員



**Q** 複合交流拠点施設候補地にヒ素化合物を含む廃棄物が埋設されていたことについて伺う

**A** 埋設物について聞いておりました

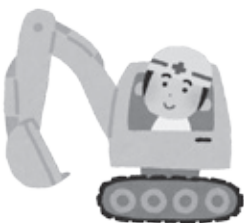
**Q** 市長、副市長は、複合交流拠点施設第2候補地の筑波ハウス敷地内停車場線道路工事にヒ素化合物を含む廃棄物が埋設されていたことについて伏せていたのではないのですか。このヒ素化合物を含む埋設物について、停車場線工事の重要な案件についての起案書、報告書に市長、副市長の確認印があります。筑波ハウス側の歩道部に大量の廃棄物があったため、その近辺は全体的に掘削、全16箇所の試掘を実施した。立会いは、かすみがうら市、日立製作所、日和サービス（株）（平成29年6月2日報告連絡書）。この地に広範囲に、ヒ素化合物が含まれた廃棄物が埋設されていたということについては、市長も副市長もご存知だったはずですが、市長、副市長はこれを確認していたのか伺います。

**A** 副市長 そのような作業が行われていたことは承知しております。埋設物についても聞いております。

**Q** 令和3年3月22日、神栖市において、市長・副市長・教育長、議員政治倫理条例が制定されました。宮嶋元市長が市長等政治倫理条例を提案し、任期満了に伴い廃案となりました。土浦市、近隣市は既に制定されています。市長の見解を伺います。

**A** 市長 市として倫理の確立、市政に対する市民の信頼は必要ですが、条例制定案の提出は考えてございません。

**321** 質問通告事項  
新型コロナウイルス感染症対策について  
土浦市との合併・広域行政の課題について（その1）  
都市構造再編集支援事業について



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

- 質問通告事項**
- 1 6月定例会における「一般廃棄物処理業の許認可について」答弁した、指導する検討するとしたその後の経過及び進捗状況について
  - 2 6月定例会における「一般廃棄物処理業の許認可について」の残質問事項について
  - 3 千代田地区小学校廃校後の跡地活用について



**矢口 龍人 議員**



**Q** 一般廃棄物処理業の許認可について、2年ごとの許可更新の事務手続きや定期的な立入検査など、行政指導はどのように考えているのか伺います。

**A 市民部長** 一般廃棄物処理業の許可更新の際は、本市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第14条第3項の規定に基づき検査を行っております。処分業としての許可の場合は、運搬業と同様に申請書類の検査を行っておりましたが、今後は現場確認も必要であると考えておりますので、処分業に関連する施設がある事業者に対しまして、必要に応じて定期的な立入りや現地確認を行うとともに、指導等を行うように努めてまいります。

**Q** 来年に迫った、千代田地区の小学校廃校後の跡地活用に係る本市の方針と今後の対応について伺います。

**A 参事** 公的利用や民間活用の可能性、条件等を調査し、その結果に応じて対応してまいります。具体的には、千代田地区廃校活用ニーズ調査を行い、市街化調整区域といった法的規制への対応、対象施設の状態や地域の意向把握、参入可能性の高い企業のニーズなどの調査を行い、来年度の公募開始に向けた募集要項の整理などを行ってまいります。

**Q** 一般廃棄物処理業等の許可更新の行政手続き・行政指導について伺う

**A** 申請書類の検査のほか、必要に応じて現地確認を行い、指導してまいります

**田谷 文子 議員**



- 質問通告事項**
- 21 千代田義務教育学校の目指すものについて猪、カラス等が年々増加の一途をたどっていると聞き及んでいるが、その対策と進捗状況について



**Q** 猪、カラス等が年々増加の一途をたどっていると聞き及んでおります。その対策と進捗状況について伺います。

**A 産業経済部長** 筑波山麓の関係市、土浦市、つくば市、石岡市、桜川市、本市の5市で担当者会議を開催し、各市の猪対策の取組状況や被害防止対策の意見交換などを行っております。重点的な取り組みとして、有害鳥獣捕獲を行う際に効果的に捕獲出来るよう、5市の捕獲活動スケジュールについて協議を行っております。今後も猟友会の協力を得ながら、関係機関と連携を図り、対応していきたいと考えております。

**Q** 小中一貫校は、学年2クラスを目標としておられると思うのですが、今後の子どもたちの人数と実態及び対応策について伺います。

**A 教育部長** 義務教育標準法が改正されまして、小学校は年次的、段階的に令和7年度までに6学年全てにおいて35人の学級となります。千代田義務教育学校における今後の子どもたちの人数やクラス数の推移でございますが、住民基本台帳における令和3年5月現在、年齢別の学年進行では、1歳児21名、2歳児29名、4歳児32名、そして現在の小学校4年生が31名で、一学年が35人未満となり、1クラスとなる場合もございます。その対応策としまして、市内全域からの就学（入学）が可能な小規模特認校制度の導入を検討しております。

**Q** 市内で増加している有害鳥獣の対策と進捗状況について伺う

**A** 筑波山麓の関係市、5市で協力して対応しております

## 来栖 文治 議員



**Q** 市内のワクチン接種希望者のワクチン接種完了の時期について伺う

**A** 11月中旬には、希望者が概ね接種を終える状況です

**Q** ワクチン接種を希望しているが、高齢者の独り暮らしの方など、家庭の事情で接種に至っていない方への対応と市の新型コロナワクチン接種の完了の見込みについて伺います。

**A** 保健福祉部長 ワクチン接種を希望するが、手続きが出来ない方など、どうすれば希望する方全員が接種できるのか方法を改めて考えながら、事業を進めていきます。今後のワクチン接種完了の見込み時期ですが、年内の完了を目標としており、11月中旬頃には概ね希望される方が接種完了する状況です。

**Q** 災害から市民の命と暮らしを守る備えとして、本市の課題をどのように認識し、政策を押し進めるのか。また、被災した場合、速やかに生活再建を図る観点から、市民の備えに対する意識醸成、支援策などについて伺います。

**A** 総務部長 自分たちの命は自分たちで守るという自主防災と、コミュニティに根差した地区防災が不可欠であります。本市では、防災の中心的な役割を担う自主防災組織のより多くの結成を促すため地域での研修会を開催し、結成された自主防災組織に毎年2万円を助成しています。また、地区の防災のリーダーとして防災士の育成に力を入れており、県で実施している「いばらき防災大学」を受講して防災士登録された方を対象に、その受講費用1万1500円の助成をしている状況です

### 質問通告事項

**1** 地震や豪雨災害による被災者避難、生活再建の備えについて

**2** 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種状況と孤立が心配される世帯へ寄り添う政策について



## 「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を提出

全国市議会議長会からの「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について」を総務委員会で審査した結果、総務委員会委員長から議長へ「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）」が提出され、全会一致をもって可決されました。かすみがうら市議会として内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、産業経済大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣及び地元選出国會議員に意見書を提出いたしました。